様式第１号

令和　　年　　月　　日

人を対象とする研究倫理審査委員会委員長　殿

研　究　計　画　書

申請者（研究責任者）

所属

職名

氏名

連絡先

下記の研究計画について、審査願います。

記

※受付番号

|  |
| --- |
| １．審査区分区分1：□新規 □継続 □変更（再審査の場合を含む）区分2：□介入あり □介入なし区分3：□侵襲あり　 □侵襲なし区分4：□単施設研究　□多機関共同研究（研究代表者が本学のもの）□多機関共同研究（研究代表者が他施設のもの） |
| ２．課題名 |
| ３．研究の対象となる個人の選定方針 |
| ４．研究の意義、目的、方法、期間、個人情報保護の方法（匿名加工等を行う場合はその方法および施行者を含む。） |
| ５．研究機関の名称（共同研究機関を含む。） |
| ６．実施体制研究代表者（主たる研究機関の研究責任者）所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　 　　　役割　　　　　　　　研究責任者（本学） 所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　 　　　役割　　　　　　　　研究担当者 　　 所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　　　　 　役割　　　　　　　　所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　　　　 　役割　　　　　　　　所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　　　　 　役割　　　　　　　　研究責任者 （他施設）所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　 　　　役割　　　　　　　　研究担当者 所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　　　　 　役割　　　　　　　　所属　　　　　　　職名　　　　　　氏名　　　　　　　　 　役割　　　　　　　　 |
| ７．インフォームド・コンセントのための手続（インフォームド・コンセントを受けない場合はその理由及び当該研究の実施について公開すべき事項の通知又は公表の方法） |
| ８．インフォームド・コンセントを受けるための説明事項及び同意文書同意撤回についての手続きについても記載してください |
| ９．研究に参加することにより期待される利益及び起こりうる危険並びに必然的に伴う不快な状態（これらの総合的評価を含む。） |
| １０．危険又は必然的に伴う不快な状態が起こりうる場合の、当該研究に伴う補償等の対応 |
| １１．研究の資金源、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況 |
| １２．研究対象者からインフォームド・コンセントを受けないで試料等を利用する場合、研究が公衆衛生の向上のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難である理由。代諾者を選定する場合にはその考え方 |
| １３．資料及び試料の保存及び使用方法並びに保存期間 |
| １４．研究終了後の資料及び試料の保存、利用又は廃棄の方法（他の研究への利用の可能性と予測される研究内容を含む。） |
| １５．情報の開示に関する方法（遺伝情報の場合は、開示に関する考え方） |
| １６.研究対象者等及びその関係者が研究に係る相談を行うことができる体制及びその相談窓口（遺伝カウンセリングを含む。） |
| １７．その他 |

※　多機関共同研究において個別の倫理審査委員会の意見を聴く場合には、「１７．その他」の欄に他機関における審査の進捗を記載すること。また、結果が出されていれば、他の委員会の審査結果及び研究実施の許可が分かる資料を添付すること。

※　研究計画の変更の場合は、新規箇所及び変更箇所に下線を付すこと。